

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公開番号】特開2014-16370(P2014-16370A)  
 【公開日】平成26年1月30日(2014.1.30)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-005  
 【出願番号】特願2013-217414(P2013-217414)  
 【国際特許分類】

G 0 1 C 21/34 (2006.01)

G 0 8 G 1/0969 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 21/00 G

G 0 8 G 1/0969

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年4月7日(2014.4.7)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

移動体の現在位置を検出する現在位置検出部と、

ユーザによる探索条件の入力を受け付ける探索条件入力部と、

出発地から目的地までの推奨経路を探索する経路探索部と、

前記経路探索部により探索された前記推奨経路に基づいて経路誘導を行う経路誘導部と

、  
前記移動体が前記推奨経路を逸脱してから復帰するまでに走行した経路である学習経路  
を、該学習経路の道路種別と対応付けて記憶する経路記憶部と、を備え、

前記経路探索部は、前記探索条件入力部により入力を受け付けた前記探索条件に応じた  
道路種別と対応付けられた前記学習経路を含む前記推奨経路を探索することを特徴とする  
経路探索装置。

【請求項 2】

前記探索条件入力部は、一般道路を優先する探索条件の入力と、有料道路を優先する探  
索条件の入力と、を受付可能であって、

前記経路探索部は、前記探索条件入力部により一般道路を優先する前記探索条件の入力  
が受け付けられた場合は、前記経路記憶部において有料道路を示す前記道路種別と対応付  
けられた前記学習経路を含まない前記推奨道路を探索し、前記検索条件入力部により有力  
道路を優先する前記検索条件の入力が受け付けられた場合は、前記経路記憶部において有  
料道路を示す前記道路種別と対応付けられた前記学習経路を含む前記推奨道路を探索する  
ことを特徴とする、請求項 1 に記載の経路探索装置。

【請求項 3】

前記経路記憶部は、前記移動体が前記推奨経路を逸脱した地点である逸脱地点及び前記  
移動体が推奨経路に復帰した地点である復帰地点を対応付けて前記学習経路を記憶し、

前記経路探索部は、前記探索条件入力部により入力を受け付けた前記探索条件に基づい  
て前記学習経路を抽出し、前記経路記憶部により記憶される該学習経路に対応付けられた  
前記逸脱地点及び前記復帰地点が前記推奨経路に含まれる場合に、該学習経路を含む前記  
推奨経路を探索することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の経路探索装置。

## 【請求項 4】

コンピュータを用いた経路探索方法であって、  
前記コンピュータは、  
移動体の現在位置を検出する現在位置検出ステップと、  
ユーザによる探索条件の入力を受け付ける探索条件入力ステップと、  
出発地から目的地までの推奨経路を探索する経路探索ステップと、  
前記経路探索部により探索された前記推奨経路に基づいて経路誘導を行う経路誘導ステップと、  
前記移動体が前記推奨経路を逸脱してから復帰するまでに走行した経路である学習経路を、該学習経路の道路種別と対応付けて記憶媒体に記憶させる経路記憶ステップと、を備え、  
前記経路探索ステップにおいて、前記探索条件入力部により入力を受け付けた前記探索条件に応じた道路種別と対応付けられた前記学習経路を含む前記推奨経路を探索すること  
を特徴とする経路探索方法。

## 【請求項 5】

前記探索条件入力ステップでは、一般道路を優先する探索条件の入力と、有料道路を優先する探索条件の入力と、を受付可能であって、  
前記経路探索ステップでは、前記探索条件入力部により一般道路を優先する前記探索条件の入力が受け付けられた場合は、前記経路記憶部において有料道路を示す前記道路種別と対応付けられた前記学習経路以外の前記学習経路を含む前記推奨道路を探索すること  
を特徴とする、請求項 4 に記載の経路探索方法。

## 【請求項 6】

前記経路記憶ステップでは、前記移動体が前記推奨経路を逸脱した地点である逸脱地点及び前記移動体が推奨経路に復帰した地点である復帰地点を対応付けて前記学習経路を記憶させ、  
前記経路探索ステップでは、前記探索条件入力部により入力を受け付けた前記探索条件に基づいて前記学習経路を抽出し、前記経路記憶部により記憶される該学習経路に対応付けられた前記逸脱地点及び前記復帰地点が前記推奨経路に含まれる場合に、該学習経路を含む前記推奨経路を探索すること  
を特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の経路探索方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するための本願発明は、ナビゲーション装置などの経路探索装置であって、移動体の現在位置を検出する現在位置検出部と、ユーザによる探索条件の入力を受け付ける探索条件入力部と、出発地から目的地までの推奨経路を探索する経路探索部と、前記経路探索部により探索された前記推奨経路に基づいて経路誘導を行う経路誘導部と、前記移動体が前記推奨経路を逸脱してから復帰するまでに走行した経路である学習経路を、該学習経路の道路種別と対応付けて記憶する経路記憶部と、を備え、前記経路探索部は、前記探索条件入力部により入力を受け付けた前記探索条件に応じた道路種別と対応付けられた前記学習経路を含む前記推奨経路を探索すること  
を特徴とする。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、前記探索条件入力部は、一般道路を優先する探索条件の入力と、有料道路を優先

する探索条件の入力と、を受付可能であって、前記経路探索部は、前記探索条件入力部により一般道路を優先する前記探索条件の入力が受け付けられた場合は、前記経路記憶部において有料道路を示す前記道路種別と対応付けられた前記学習経路以外の前記学習経路を含む前記推奨道路を探索することを特徴とする。